

世界に羽ばたく
科学系人材の育成!

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第5号 H24年9月
編集 : SSH推進委員会
発行責任者 : 西 清人

9月27日(金) ~ 29日(土)

関東サイエンスツアー



1年理数科40名が、「第一線の研究者・技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより科学技術に対する興味・関心を高め、学ぶ意欲を育てる」ことを目的に、国立科学博物館、東京大学(医学系・電気工学系・航空宇宙工学系)、東京周辺の研究施設、日本科学未来館での実験実習等の研修を行いました。この関東サイエンスツアーでは事前に、研修先から出された課題について調べたり、事前学習シートを使って予備学習を行ってきました。そのため、生徒たちは興味と目的をもって臨み、どの研修の際にも積極的に質問して新たな発見をすることができました。また、夜にはその日のまとめを行い、より深い理解をすることができました。どの研究室、研究所も最先端の科学技術と知識を披露していただき、生徒たちにとって非常に大きな刺激となりました。

【日程】

- 第1日目 (午前) 小松→東京(飛行機利用) 国立科学博物館 見学
(午後) 東京大学で医学系、電気工学系、航空宇宙工学系に分かれての研修
- 第2日目 グループに分かれての研修
- ・Aグループ
 - ①(午前) 東京工業大学応用セラミックス研究所 → (午後) 国立極地研究所
 - ②(午前) 東京工業大学応用セラミックス研究所 → (午後) 原子力技術研究所
 - ・Bグループ
 - ①(午前) 電子航法研究所 → (午後) 理化学研究所(和光)
 - ②(午前) 電子航法研究所 → (午後) 鹿島技術研究所
- 第3日目 (午前) 日本科学未来館 研修
(午後) 東京→小松(飛行機利用)



国立科学博物館



東大・医学系



東大・電気工学系



東大・航空宇宙工学系



夜の学習(ホテルにて)



東大・応用セラミックス研究所



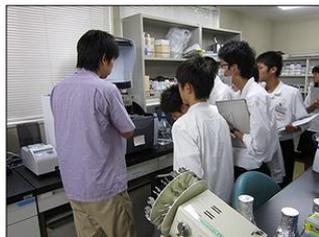
電子航法研究所



国立極地研究所



原子力技術研究所



理化学研究所（和光）



鹿島技術研究所



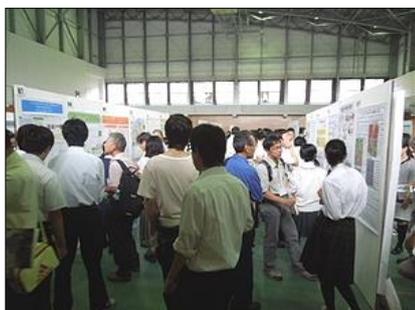
日本科学未来館

《生徒の感想》

- 大学の先生や、研究所の연구원の方の話がとても興味深く、今後、学習していく活力がわいてきた。
- いろいろな研究所で様々な分野での未知のことを知って面白いと思ひ、また将来に役立てたいと思うことができた。
- 楽しく研修でき、知識も深める事が出来ました。特に「脳」はとても楽しいです。今後もさらに学習したい。
- 実際に研究室を訪問することで調べるだけではわからない雰囲気や現状を実感できたことが良いと思った。
- 最先端の研究所を訪問して講義を受けたり、研究所内を見学したりできたので、とても有意義だった。また、科学に対する好奇心も高めることができた。

第76回 日本植物学会 高校生研究ポスター発表会

9月16日(日)に兵庫県立大学姫路書写キャンパスで日本植物学会高校生研究ポスター発表会が行われ、本校から生物部の2年生2名、1年生1名が参加しました。高校生の発表でありながら、どの高校の発表もレベルが高く、各高校の特色を出した素晴らしい発表をしていました。本校は「塩化セシウムが植物に及ぼす影響」というテーマで発表を行いました。聴衆者に対してポスター前で発表するだけでなく、ポスターの縮小版を持って、それぞれの場所で観客に自分達の研究について説明しました。



科学わくわく広場 ~小学生に科学のおもしろさを伝えよう!~

9月8日(土)に小松市立博物館内の市民ギャラリー「ルフレ」で、実験体験コーナー「科学わくわく広場」が開催され、本校から理化部の1年生4名が参加しました。今回は小学生と一緒にプラスチックコップを使った一弦琴を作りました。一弦琴は弦の長さや張力によって振動数が変わることを利用して音階を作り、プラスチックコップで音を共鳴させる仕組みの楽器です。良い音が出るように弦をピンと張るのが難しかったのですが、琴を完成させた小学生たちは、一本の弦で音階を奏でて、知っている曲をひいて楽しんでいました。

